

主題名

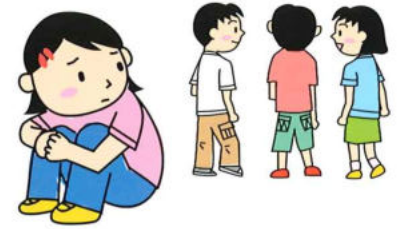
いじめを許さず、お互いを尊重する態度

教材名

「友達」

人権学習の視点

個別的な視点「子どもの人権問題」



主題・教材について

人間関係のつまずきを人のせいにして、自分を正当化してしまうことがあることに気付き、自分の行動を振り返ることの大切さを感じ取らせたい。また、些細なことがきっかけで「いじめ」につながることを知る中で、いじめをしない、させない強い意志と行動力を育てたい。

ねらい

いじめの不合理さに気付き、より良い仲間作りをするためにどんなことが大切なのかを考え、行動しようとする態度を培う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○どんな時に「友達がいてよかったな」と思ったかを考えさせる。	一斉	○友達がいてよかったと思った時のことを、思い起こす。	○例えば、忘れ物をした時、失敗をした時など、友達がいて心丈夫だったり嬉しかったりしたことを考えさせる。	
展開	○「友達」前半（初め～P49,16行目まで）を読み聞かせる。	一斉	○「友達」前半を聞く。	○会話文のところは、状況がわかりやすいように変化をつけて読み聞かせる。	資料「友達」
	「けちんぼ。」と言われたみっちゃんは、どんな気持ちになっただろう				
	○「私」のことを考えて話したのに「意地悪」ととらえられてしまったみっちゃんの思いを発表させる。	個別 一斉	○みっちゃんが、「けちんぼ。」と言われたときの気持ちを、発表し合う。	○自分勝手な感情で、友達を傷付けていることに気付かせる。	
	みっちゃんが、学校に来られなくなったのは、どうしてかな				
開	○みっちゃんが、学校に来られなくなった理由をワークシートに書かせ、発表させる。	個別 一斉	○みっちゃんが、学校に来られなくなったのはどうしてか考えて、ワークシートに書き発表する。	○具体的にわたしがみっちゃんにしたことを確かめる中で、生まれてきたいじめの構造に気付かせる。	ワークシート問1
	○「友達」の後半P49「何日かたったある日～」を読み聞かせる。	一斉	○「友達」の後半を聞く。		
みっちゃんに「ごめんなさい。」と言えた私は、どんな気持ちだったろう					
	○「ごめんなさい。」と言えた私の気持ちを考え、発表させる。	個別 一斉	○「ごめんなさい。」と言えた私の気持ちを考え、発表する。	○「ごめんなさい。」を言う前と言った後で、私の気持ちはどのように変わったかを比較させてもよい。	
より良い仲間作りをするために、大切なことは何だろう					
まとめ	○より良い仲間作りをするためには、どんなことが大切かについて考えさせる。	個別 一斉	○より良い仲間作りをするためには、どんなことが大切かワークシートに書き、発表する。	○友達と仲良くできることと共に、正しいことをお互いと言える大切さについてもふれるようにする。 ○日常生活を振り返り、これからの生活に生かしていけるようにする。	ワークシート問2



評価

いじめの不合理さに気付き、より良い仲間作りをするためにどんなことが大切なのかを考え、行動しようとする態度を培うことができたか。